

防災教育・周知啓発ワーキンググループ 防災教育チーム資料
(第 2 回) 令和3年1月28日

大津波を生き抜いた子ども達から学ぶ

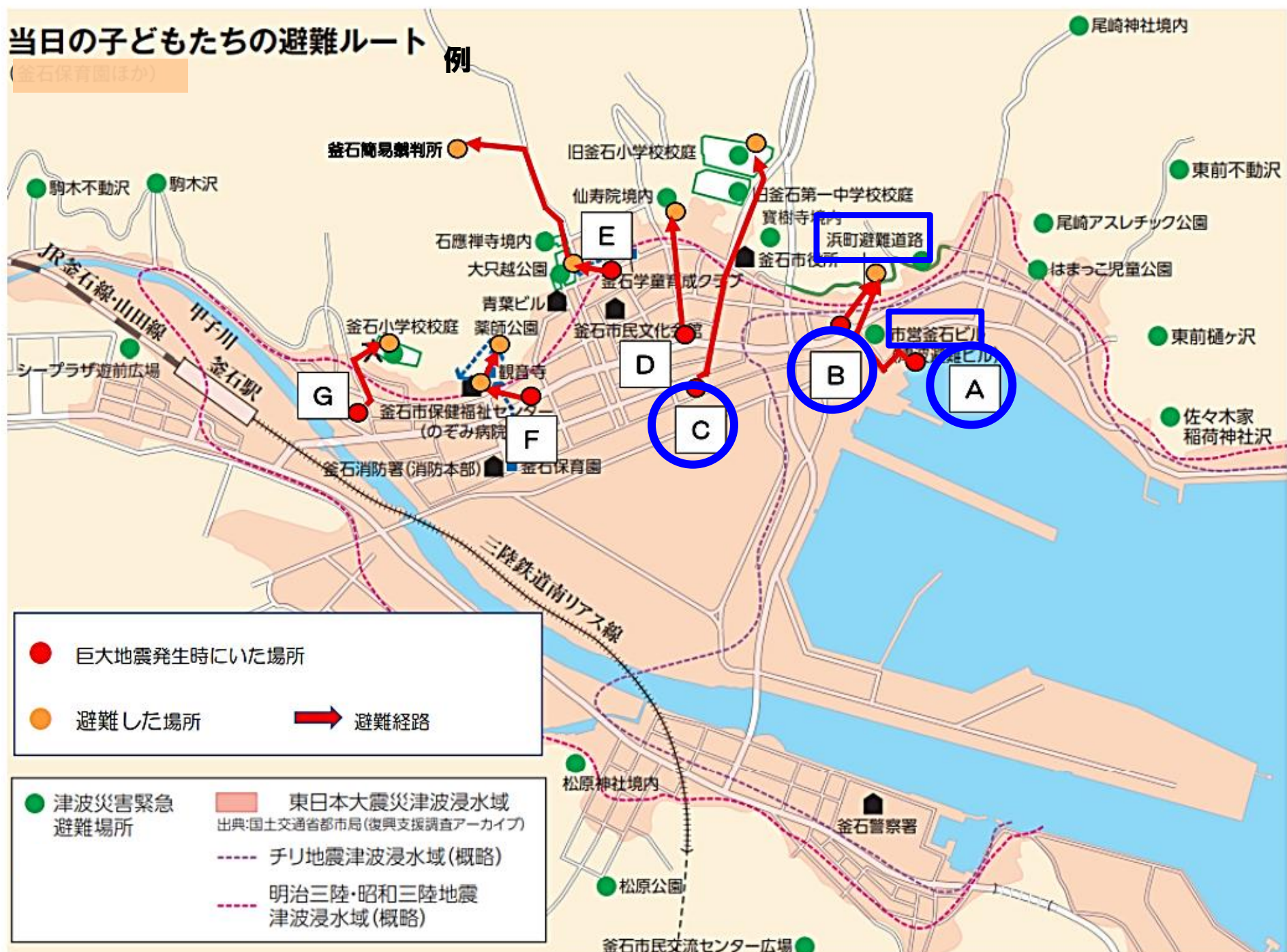
岩手大学教員養成支援センター
特命教授 加藤 孔子

(元釜石小学校長

いのちをつなぐ未来館(伝承施設)名誉館長
大震災かまいしの伝承者)

当日の子どもたちの避難ルート 例

(釜石保育園ほか)

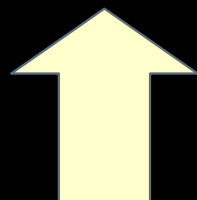


- 巨大地震発生時にいた場所
- 避難した場所
- ➔ 避難経路

- 津波災害緊急避難場所
- 東日本大震災津波浸水域
出典:国土交通省都市局(復興支援調査アーカイブ)
- チリ地震津波浸水域(概略)
- 明治三陸・昭和三陸地震津波浸水域(概略)

何が子ども達の命を
救ったのか？

釜石小学校の防災教育



正常性バイアスの克服

奇跡ではない釜石小の軌跡



釜石小学校の防災教育 その1

ぼく・わたしの
津波防災安全マップ作り

奇跡ではない釜石小の軌跡



ぼくの わたしの 安全マップ

1

安全をしっかり
チェックして、
毎日の勉強・
運動・遊びに
いきいき取り
組もう！

きけなところは、時間や天気などで、同じ道路で
変わってきます。いつでもしっかり注意して、自分の
身もまもりましょう。



- 自動車がたくさん通るので、注意
- 見通しの悪い交差点や駐車場の出入り口等により、車や人の飛び出しに注意
- クマやシカなど、野生動物に注意
- 道ははげせまかったり、カーブなどで、特に注意
- 子ども110番の家
- 津波ひなん場所

建物の壁が落ちてきそう

看板が落ちてきそう

地区ごとに調べて歩く



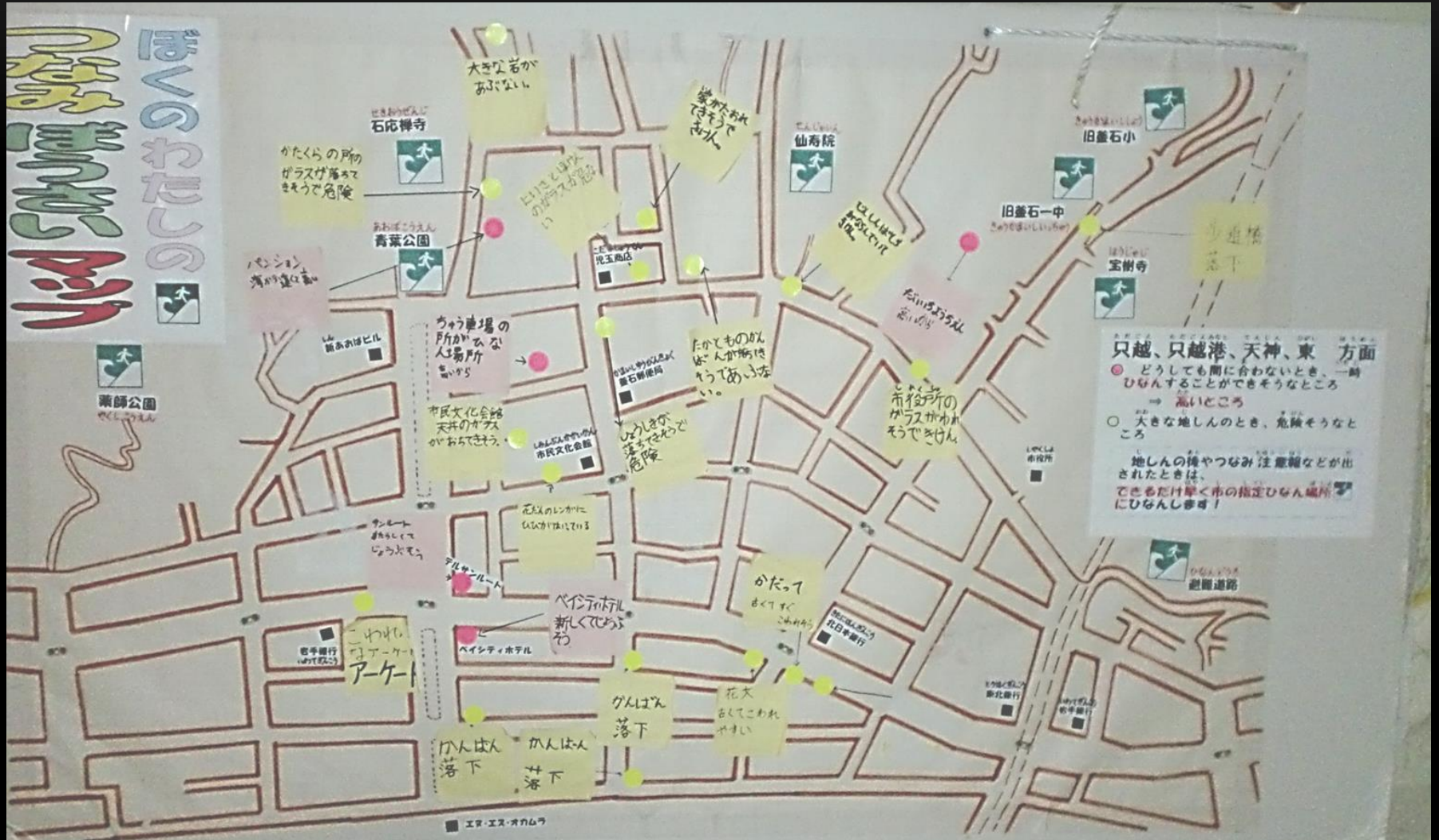
奇跡ではない釜石小の軌跡





奇跡ではない釜石小の軌跡 

調べたことを大きな地図に貼る



奇跡ではない釜石小の軌跡



津波防災安全マップ作りの有効性の要因

- ①子ども達が、自分の足で歩き、自分の目で確かめて作成したこと。
- ②保護者が子どもとともに歩き、通学路を確かめたこと。
- ③個人で調べたことを、地区の子ども達で共有したこと
- ④作成した大きなマップを校舎内に掲示し、常に子ども達が学区、通学路の避難場所や危険個所を目にしていたこと。
- ⑤市主催の地域会議で学校の取組として、マップづくりを共有していたこと。
- ⑥「不審者マップ作り」を「津波防災マップ作り」に応用するという教師の安全教育の理解と工夫があったこと。

釜石小学校の防災教育 その2

下校時津波避難訓練

奇跡ではない釜石小の軌跡



下校時津波避難訓練



奇跡ではない釜石小の軌跡





奇跡ではない釜石小の軌跡



下校時津波避難訓練の有効性の要因

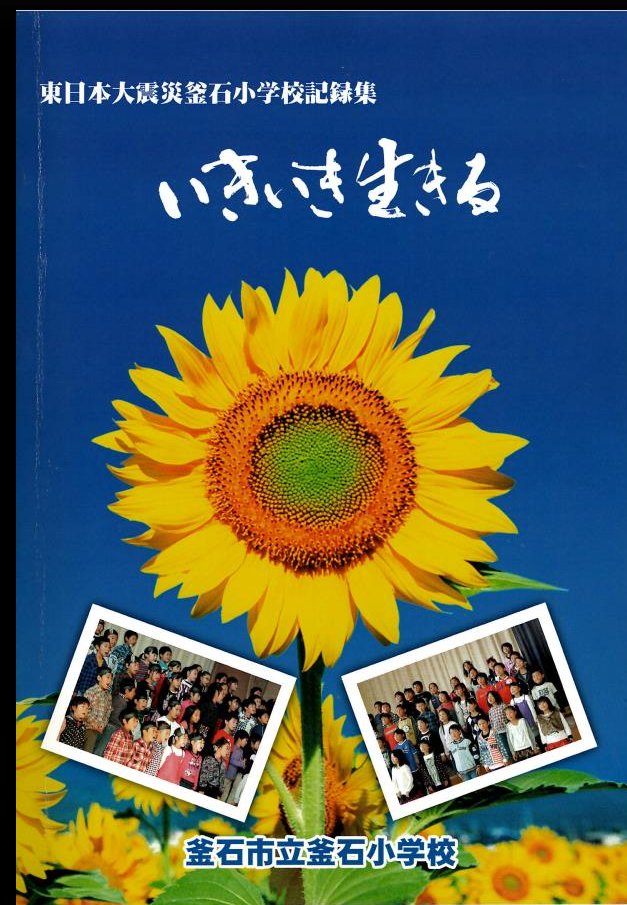
- ① マップ作りで確認した避難場所が校内掲示等で記憶にあり、その時、実際にいる場所から一番近い避難場所を考え避難する行動をとることができたこと。
- ② 揺れが収まるまではその場で身を守ることは安全の確保とともに、次の行動に心を落ち着かせることができた。
- ③ 保護者や地域の方、行政の方も一緒に訓練に参加してくれたこと。
- ④ 市の防災課がこの訓練に協力してくれたこと。
- ⑤ 従来の学校の避難訓練と言えば、校内における地震発生、火災発生の訓練であった学校教育に、新しい発想で下校時津波避難訓練を考え実践したこと。

命を守る下校時避難訓練の構築 ～東日本大震災の教訓を踏まえた防災教育の試み～

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 修士課
中川優芽 (2019)

釜石小学校が作成した「釜石小学校東日本大震災記録集 いきいき生きる」(釜石小学校.2012)

の避難行動が書かれた作文から当時避難した児童へのインタビュー調査を行い、M-GTA分析の結果から、下校時津波避難訓練が津波避難行動に影響を与えたことが明らかになったとしている。



釜石小学校の防災教育 その3 津波防災の授業



奇跡ではない釜石小の軌跡



釜石市 津波防災教育のための手引き

釜石市 教育委員会
群馬大学災害社会工学研究室
危機管理監 / 防災危機管理課

目 次

1. はじめに

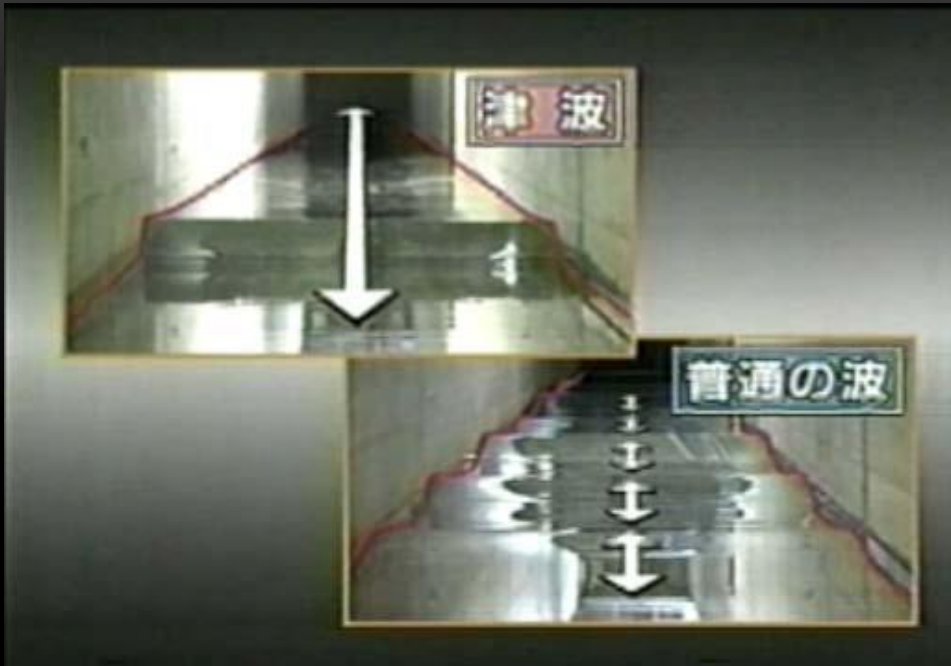
2. 各教科での地震・津波防災に関する知識の取り込み

3. 学年別・教育目的別津波防災教育カリキュラム

3. 1 小学校 1・2年生			
(1) I. 地震・津波を知る	C. 避難の必要性を知る	学 活	1時間
(2) I. 地震・津波を知る	B. 津波の特徴を知る	体 & 学	1時間
(3) I. 地震・津波を知る	B. 津波の特徴を知る	算 数	10～15分
(4-1) II. 対応行動を知る	C. 学校や自宅周辺の避難場所を知る	生 活	1時間 (計2時間)
(4-2) II. 対応行動を知る	C. 学校や自宅周辺の避難場所を知る (W&M)	生 活	1時間
3. 2 小学校 3・4年生			
(1) II. 対応行動を知る	A. 地震から身を守る方法を知る	学 活	1時間
(2-1) II. 対応行動を知る	B. 津波からの避難方法を知る	学 活	1時間 (計7時間)
(2-2) II. 対応行動を知る	C. 学校や自宅周辺の避難場所を知る (W)	社 会	2時間
(2-3) II. 対応行動を知る	D. 様々な避難方法を考える	社 会	1時間
(2-4) II. 対応行動を知る	D. 様々な避難方法を考える (M)	社 会	3時間
(3-1) III. 地域の津波被害を考える	A. 過去の津波被害を知る	学 活	1時間 (計2時間)
(3-2) III. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る	学 活	1時間
(4) IV. 先人の経験に学ぶ	A. 体験者から話を聞く	学 活	1時間
(5) I. 地震・津波を知る	A. 地震・津波のおき方を知る	学 活	1時間
(6) I. 地震・津波を知る	B. 津波の特徴を知る	学 活	1時間
3. 3 小学校 5・6年生			
(1) I. 地震・津波を知る	D. 津波の様々な特徴を理解する	学 活	1時間
(2) II. 対応行動を知る	C. 学校や自宅周辺の避難場所を知る (W&M)	総 合	5時間
(3) III. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る	総 合	1時間
(4) I. 地震・津波を知る	A. 地震・津波のおき方を知る	学 活	1時間
(5) I. 地震・津波を知る	D. 津波の様々な特徴を理解する	学 活	1時間
III. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る	学 活	1時間
(6) II. 対応行動を知る	B. 津波からの避難方法を知る	学 活	1時間
IV. 先人の経験に学ぶ	B. 津波でんてんこ		
(7) III. 地域の津波被害を考える	A. 過去の津波被害を知る	総 合	1～3時間
(8) II. 対応行動を知る	B. 津波からの避難方法を知る	学 活	1時間
III. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る		
(9) II. 対応行動を知る	B. 津波からの避難方法を知る		
III. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る	下校時避難訓練	
3. 4 中学校 1・2・3年生			
(1) I. 地震・津波を知る	～ II. 対応行動を知る の総復習	総 合	1時間
(2-1) I. 地震・津波を知る	A. 地震・津波のおき方を知る	理 科	1時間 (計2時間)
(2-2) I. 地震・津波を知る	E. 地震の揺れの特徴を理解する	理 科	1時間
(3) II. 対応行動を知る	E. 避難後の行動を考える	学 活	2時間
(4) II. 対応行動を知る	E. 避難後の行動を考える	学 活	1時間
(5) II. 対応行動を知る	E. 避難後の行動を考える	総α学	2時間
(6) III. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る	社 会	1時間
(7) II. 対応行動を知る	B. 津波からの避難方法を知る	避難訓練	
III. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る		
(8) II. 対応行動を知る	F. 避難できない人間の心理を知る	総α学	1時間
(9) IV. 先人の経験に学ぶ	C. 語り継ぐ責任	道 徳	1時間

4. 津波防災教育のための資料一覧

【参考資料】学校の防災（地震・津波）マニュアル作成時の留意事項についての通知（平成25年3月15日付）



効果的な教材・DVD

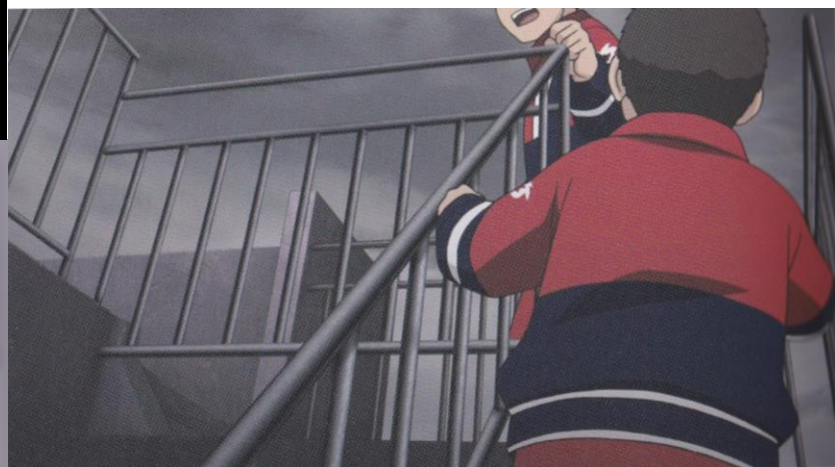
●50センチの波が来たらみんなは逃げられると思う？

・水泳習ったばかりだし、50センチなら逃げられると思う。

DVD

すごい速さだ。背の高さくらいあった車や家も流されるんだ と驚く

津波防災授業



50cmの波でも人は流される
という授業を思い出し、家の
屋上に避難



津波防災授業の有効性の要因

- ①「釜石市津波防災教育のための手引き」を作成した釜石市の先生方の知恵と努力があったこと。
- ②手引きに、群馬大学災害社会工学研究室の協力を得て、インパクトの強い映像等を授業の中で使うことができ、効果的な授業ができたこと。
- ③手引きに従って、防災授業をしっかりと実践した真摯な先生方がいたこと。
- ④授業をしっかりと覚えている、話をしっかりと聴くことのできる子ども達が育っていたこと。

釜石小学校の防災学習

184人の命を救ったもの

正常性バイアスの克服

- ぼくわたしの津波防災マップ
- 下校時津波避難訓練
- 津波防災授業



防災教育だけではない

防災教育以前に大事なものの

● 当たり前を当たり前
学校教育でしっかり育む

● 心の育成

● 地域のか

● 行政のか

奇跡ではない釜石小の軌跡



釜石は海の恵みをたくさん受けている。
が自然は時として災いを起こす。だから
と言ってふるさとを嫌いにならない
でほしい。災いが起こったときは、ふる
さとのお作法を守ってふるさと
きになってほしい。（片田敏孝教

- ふるさとの人
- ふるさとの
自然、もの、こと

ふるさとを好きになる

- ふるさとの人、
自然、もの、こと
と**かかわる**

● 生活科、総合、社会科…実際に

●例 6年「キッズマート」総合

- ・子ども達の仕事設立経営の講義や話し合い
- ・水産業：漁協「わかめの芯抜き作業」体験
- ・農業：そばの収穫体験 等々
- ・キッズマートの開催：町中で水産物、農産物、その他の販売

保護者の意識の醸成

● 自他の命を守るための共通理解、共有

いきる
そなえる

- 講演会
- 子どもと
- 下校時津
- 校報

One Team



奇跡ではない釜石小の軌跡



地域民の意識の醸成の

●自他の命を守るための
共通理解、共有

いきる
そなえる

● 地域会議で学校の防災教育

● 下校時津波避難訓練に参加

● 校報

● かかわる

・行事

・地域の教育力活用

・あいさつ

●地域の人と関わる機会を設ける。

かかわる

●学校地域支援本部事業の活用

One Team

奇跡ではない釜石小の軌跡



釜石小学校の防災教育のねらい

- ☆ 津波や津波から身を守る仕組みについてよくわかり、命を守ることのできる子に。
- ☆ いざというときに、協力して困難に立ち向かうことのできる子に。

津波防災教育の全体計画の策定

- ★ 命を守る学習を教育計画に位置付ける。
- ・学級活動の時間を中心に
- ・各教科や道徳、総合的な学習などとの関連。

地域防災に対するねがい

- ☆ 子どもたちの津波防災への意識・判断力・行動力を育てるとともに、大人である保護者・地域の方々の防災への意識・行動力等も高めていきたい。

子どもたちに

津波から命を守る学習

全学年・全学級での授業実践 (2, 3学期)



こんなに津波がすごいとおもいませんでした。ぼくは50cmの津波でも気をつけたし、警報が鳴ったらすぐに避難をする準備をしたいと思います。(児童の感想より)

津波が来たらすぐ近くの避難場所に行った方がいいと思いました。津波はいつ来るか分からないので、家でも準備した方がいいです。(児童の感想より)

親子で

安全マップをつくらう (6月下旬)



作成にあたっては、親子で歩き、話し合い、一人一人に合った地図を作成しました。来年度は、さらに津波防災に焦点をあてて、よりねらいの明確なマップにしていきたいと考えています。

保護者に

防災教育講演会 (H20. 11. 8)



群馬大学大学院教授 片田敏孝先生に「津波から身を守る知恵を持った子を育てる」と題して、ご講演をいただきました。学習参観日に実施したのですが110名以上の保護者が参加し、大変有意義な機会となりました。

防災意識の低さを再認識させられました。日頃から、家族でいろいろな場面での避難の仕方等、シミュレーションしておこうと思いました。津波警報が出たら避難する、津波が来なかったら「良かったね」と言い合える地域の連携も必要だと思いました。(保護者の感想より)

津波について、学習発表会で熱演 (H20. 10. 25)



この劇では、命の大切さや家族の大切さなどいろんなことを伝えることができると思うので、みんなに伝えられるようにがんばりたいです。(児童の日記より)

日頃忘れていた(考えたくない)題材を扱って良かったと思います。苦勞する姿をおして命の大切さが描かれていました。最後の「まづ何より命を守る」というところはぐっときました。(保護者の感想より)

子どもからの発信

下校時避難訓練 (H20. 11. 8)

下校時に津波警報

釜石小児童、保護者ら訓練

釜石市立釜石小学校が8日(土)午後、下校時避難訓練を行った。児童ら約400人と保護者ら約400人が参加し、緊急地震速報(緊急地震速報)の発令を想定し、児童らは机の下に避難し、保護者は児童らと一緒に避難した。訓練は、児童らは机の下に避難し、保護者は児童らと一緒に避難した。訓練は、児童らは机の下に避難し、保護者は児童らと一緒に避難した。



釜石市の津波防災訓練のご協力をいただき、地区ごとに集団下校を行い、その途中で「緊急地震速報→大地震発生」という設定で行いました。地域の方も参加して下さり、防災について家庭・地域ぐるみで確認する貴重な訓練となりました。

地域とともに

行政との連携を深める

●自他の命を守るための
共通理解、共有

いきる

そなえる

- 市主催の会議への出席
…学校からの発信
- 下校時津波避難訓練への協力
 - ・ 訓練放送の依頼…防災課
 - ・ 訓練への参加依頼…地域福祉課

One Team

奇跡ではない釜石小の軌跡



教師の意識の醸成のために

● 日常の指導の充実…学校力

● 地域を知る 歩く

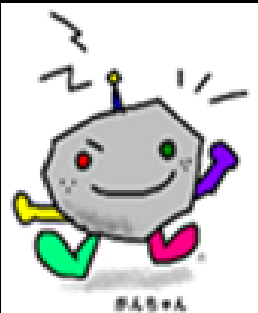
One Team

● 地域の人とかかわる

● 教師教育…大学生に

岩手大学 子どもを守れる教師に

いわての復興教育



奇跡ではない釜石小の軌跡



大川小の教訓から

子どもを守るのは
山ではない
山に逃げることを教える
教師の判断力

東日本大震災の教訓から

教師のとっさの判断
(そのために**地域**の**リスク**を知る)

奇跡ではない釜石小の軌跡



東日本大震災から10年

- 震災の記憶のない世代
- 震災の記憶のある世代

いわての復興教育 2011年～



いきる
かかわる
そなえる

- 小学校低学年用
- 小学校高学年用
- 中学校用
- 高等学校用

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/...>

「東日本大震災があったからこそ、
ふるさと釜石が好きになった。
ふるさとが好きだからこそ、
今を頑張れています。」



釜石のために活動する高校生・寺崎幸季さん

東日本大震災があったからこそ、釜石が好きになった。ふるさと釜石が好きだからこそ、今を頑張っています。寺崎幸季さん（17歳）は、東日本大震災があったからこそ、ふるさと釜石が好きになった。ふるさと釜石が好きだからこそ、今を頑張っています。

震災機に地元愛強く



4年後の釜石へ
2019年は釜石でラグビーワールドカップ（W杯）が開催され、世界中から人が来る。東日本大震災があったことは忘れないでほしいが、4年後はもう「被災地」とは呼ばれないでいてほしい。ボランティアの人たちにも、「被災地だから」でなくシンプルに「釜石だから」行こうと思ってもらえたらうれしい。W杯をきっかけに、かつて被災地ボランティアとして来てくれた人、釜石が嫌だと離れて出て行った人たちも、いろんな人が集りやすい「みんな

いまを
生きている

「東日本大震災後、多くの出会いがありました。その裏では必ず、どんなに苦しくても前を向き、立ち上がって頑張っている

『かっこいい』大人たちが支えてくれていました。」

